

12月	3日：大阪府社会福祉協議会主催の府下社協職員とボランティア向けまち歩き(地域防災)を受け入れ。 6日：からほり倶楽部理事会にてロジモク減災勉強会報告会開催。
1月	18日：企画立案や開催準備に協力した、U-CoRo フォーラム「減災トーク・セッション～あなたのためのそばの避難所」開催。桃園連合振興町会の浦野会長もパネリストとして参加。 25日：ロジモク減災勉強会第1回(通算第5回)をサロン de ありす(「練」2階にて開催。参加者13名。
2月	12日：ロジモク減災勉強会第2回(通算第6回)をサロン de ありすにて開催。参加者14名。 27日：ロジモク減災勉強会現地見学会(通算第4回)開催。直木三十五記念館でのミニ・レクチャー後、長堀橋～堺筋本町～北浜～南森町でのまち歩きを実施。参加者16名。 事業終了後、関係者による振り返り会を実施し、これまでの振り返りと今後の進め方について意見交換を行う。

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効果	◆ 効果 【地元連合振興町会とのつながりの基盤確立】 ロジモク減災では、立ち上げ期3年間の地元地域との防災・減災面でのつながりづくりを目指してきた。2年目の一昨年初めて開催された桃園連合地域での防災訓練で、からほり倶楽部として参加の誘いをいただき、つながりの糸口を得ることが出来た。 3年目では U-CoRo の展示とも連携・協力しながら、地元地域との一層のつながりを図り、昨夏の大阪市立南高校への避難所見学会を実施した。昨秋開催された防災訓練では、ロジモク減災勉強会としての「防災訓練見学会」を快く受け入れていただくなど、連携・協働への実績づくりも積み重ねはじめることが出来た。 また、ロジモク減災勉強会では桃園連合振興町会の会長もゲストでお招きし、これまで築いたネットワークのなかの実践者や研究者とも出会う機会をつくるなど、地元地域での広範な防災・減災つながりの拡充に向けた基盤を確立することが出来た。 【防災・減災活動の実践者や研究者とのネットワークの一層の確立】 ロジモク減災勉強会や U-CoRo 展示への協力などを通じて、3年目も防災・減災活動の各地の実践者や研究者との新たな出合いや出合いの積み重ねを得ることが出来、ネットワークの一層の確立を図ることが出来た。 これまでの現地見学会訪問先との関係強化では、神戸市長田区の野田北部まちづくり協議会と京都市東山区の祇園町南側地区まちづくり協議会を空堀地域へお招きし、こちらの街並みや防災・減災活動の現状などを見ていただくことで、当方への関心や理解を高めることが出来た。 また、大阪大学コミュニケーションデザイン・センターとの協力関係構築に尽力いただいていた研究者の移籍に併せ、関西大学社会安全学部との関係づくりに向けた一歩も踏み出すことが出来た。 神戸長田や京都祇園への再訪プランや京都市大学防災研究所の見学会など新たな事業展開も、勉強会を通じて打診・提案しあえるなど、実
----	--